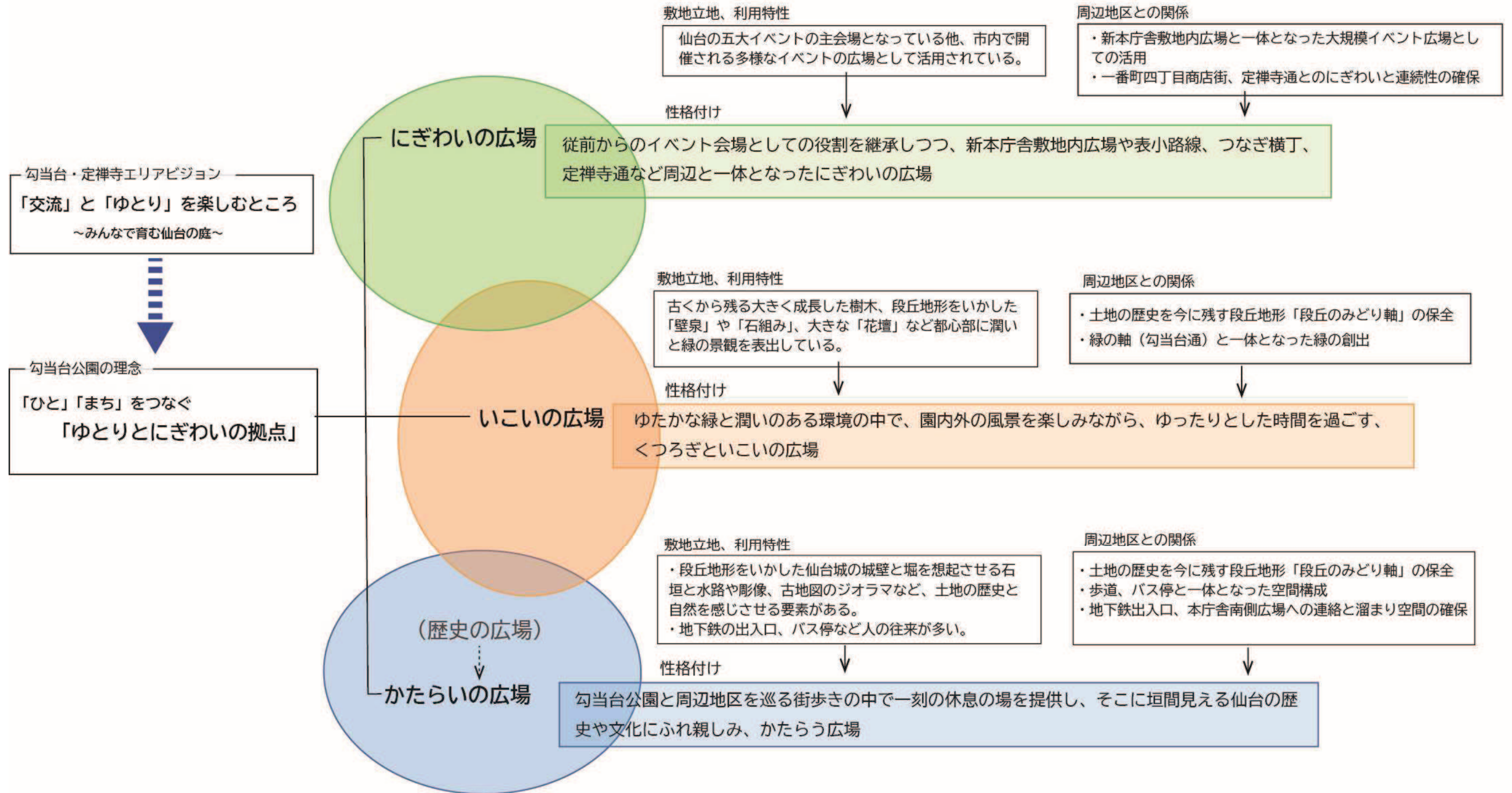


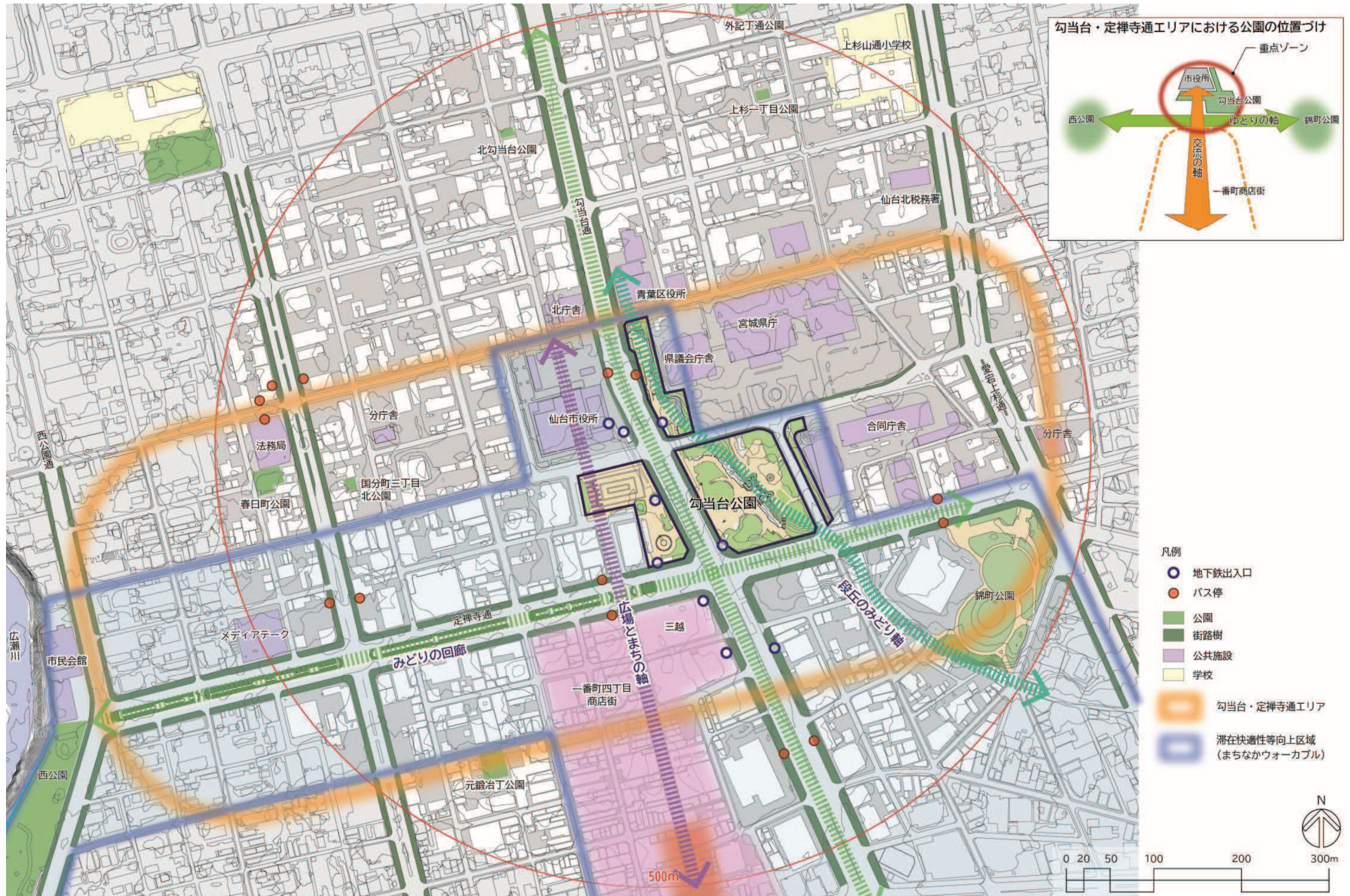
2) 広場の性格付け



3) 整備方針

① 全体方針

本公園は、「交流とゆとりを楽しむところ、みんなで育てる仙台の庭」をまちづくりの理念とする勾当台・定禅寺通エリアビジョンにおいて、市役所と一番町商店街とを結ぶ「交流」の軸と豊かにつながる緑の「ゆとり」の軸が交差する「重点ゾーン」に位置づけられている。こうした勾当台地区における公園の位置づけを踏まえ、「開放的で市役所新庁舎や定禅寺通など周辺とシームレスにつながる「交流」の場づくり」、「周辺の緑と一体となって都心における「ゆとり」(質的な暮らしの豊かさ)を実感できる開放感あるデザインの導入」、「段丘のみどり軸に沿った散策動線強化や公園入口と街角の一体化など、ウォーカブルな広場づくり」を再整備の基本方針とする。



3) 整備方針

② グリーンインフラ整備の方針

勾当台公園一帯は、都心においても緑被率の高い地区である。

本公園を核とした東西に延びるパークシステムや南北に延びるみどりの回廊と段丘のみどり軸などの緑のネットワークと一体となって、公園が持つ緑資源を活かした暑熱化低減や下水道など都市インフラへの負荷軽減、生きもの生息環境の創出など都心に環境改善効果をもつグリーンインフラの整備を進める。

緑地分布現況図



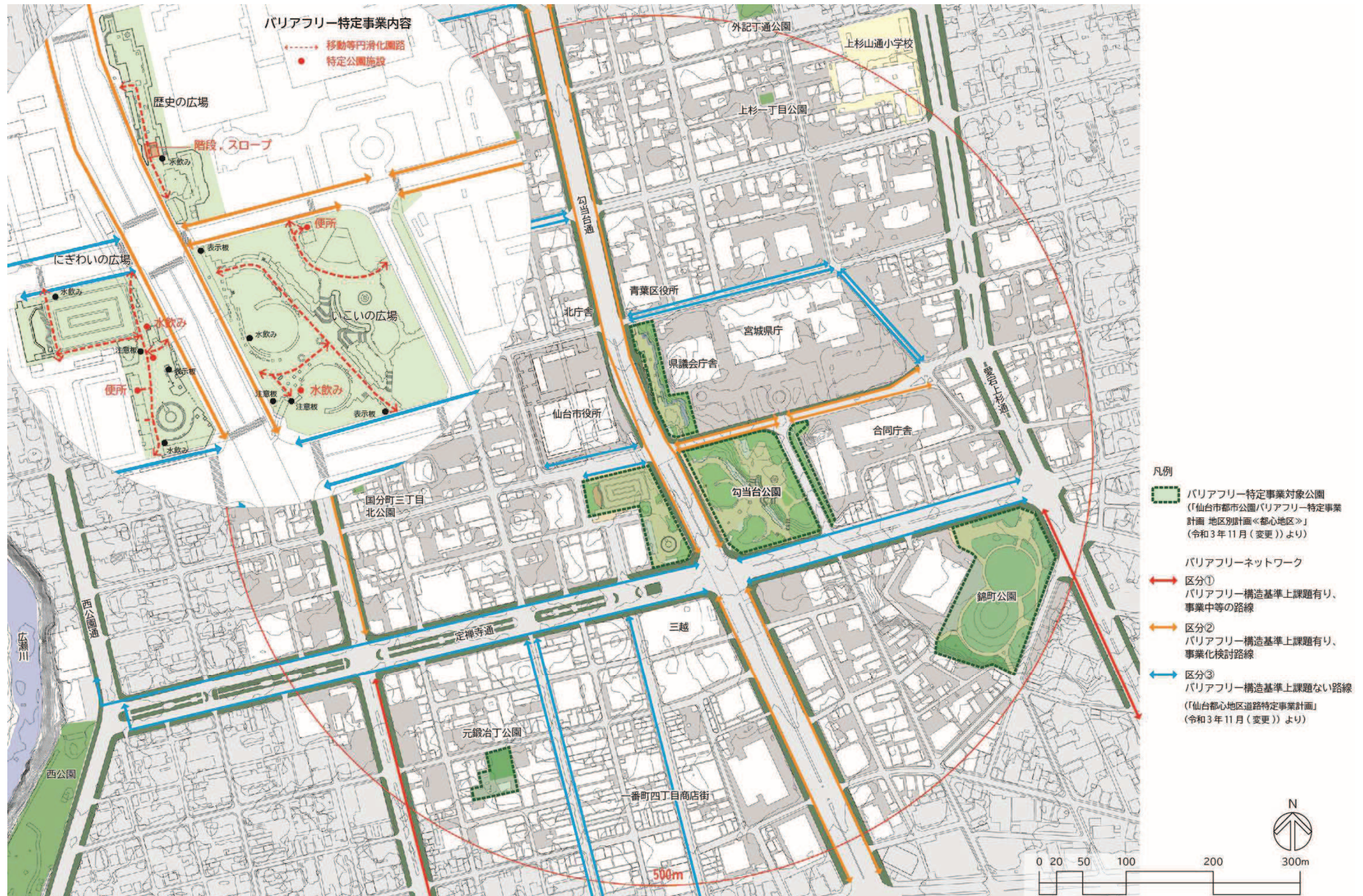
※令和元年時点 緑地分布図総括図を加工

3) 整備方針

③ バリアフリー化の方針

勾当台・定禅寺通エリアビジョンで示された重点ゾーンにおけるシームレスな利用空間づくりの実現に向け、周辺との連絡性と案内機能の向上を図り、誰もが楽しみ、利用できる公園づくりを進めることが求められている。そのため、本公園のバリアフリー特定事業計画及び周辺地区一帯で進められている道路のバリアフリー化事業との整合を図った公園のバリアフリー化を重点的に進めていく。

バリアフリーネットワーク図



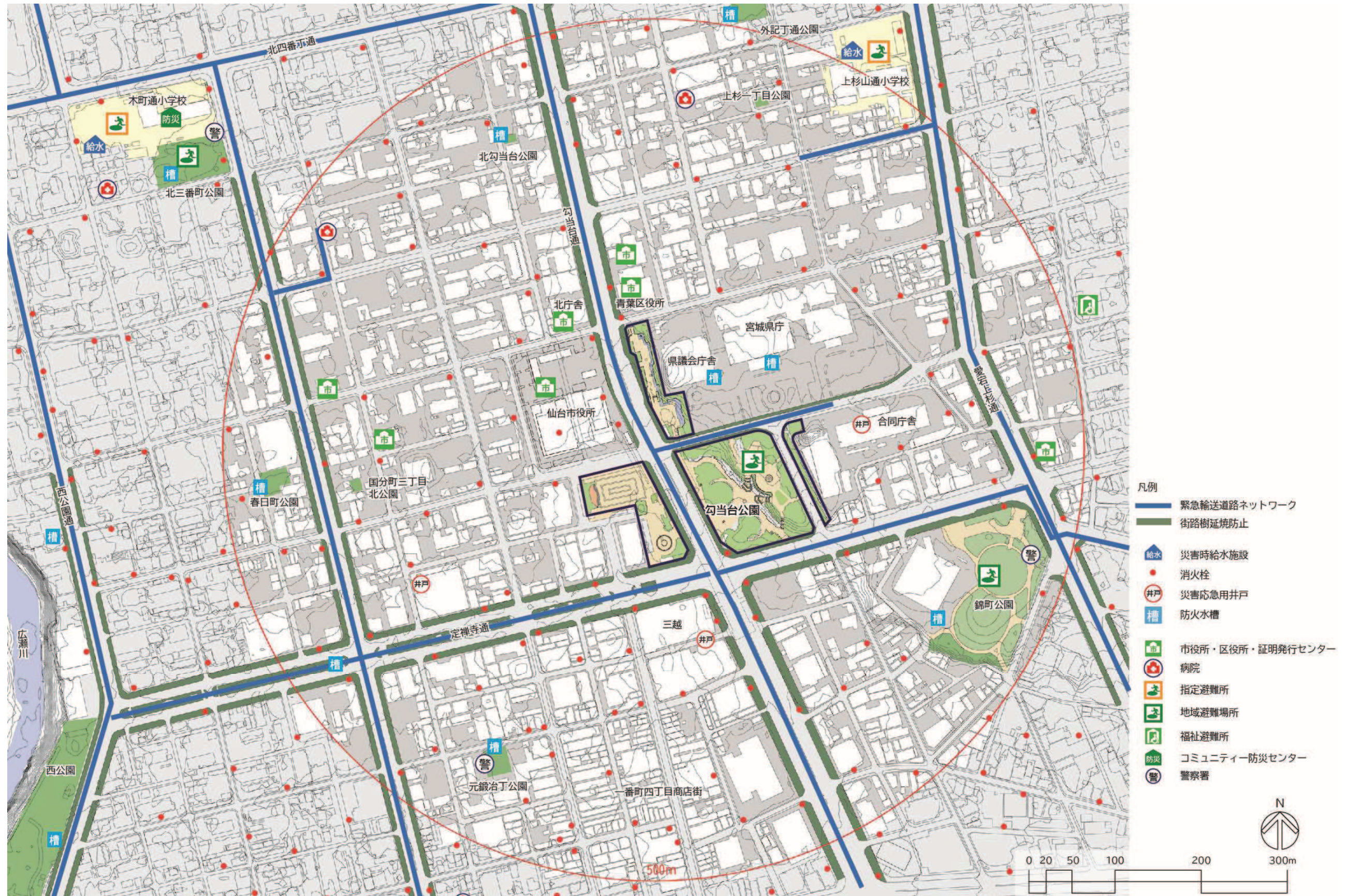
※仙台市役所は建て替え後のレイアウトとしている。

3) 整備方針

④ 防災強化の方針

本公園は市防災計画では地域避難場所に位置付けられている。新本庁舎や周辺施設との連携に配慮して、既存樹林の延焼防止機能や多くの人が集まれる市役所と一体となる広場、定禅寺通など避難経路となる緑のネットワークとのつながりを活かした防災機能の強化を図る。

防災関連施設現況図



※仙台市役所は建て替え後のレイアウトとしている。

4) 既存施設・植栽の保全・活用方針

① 施設・彫刻

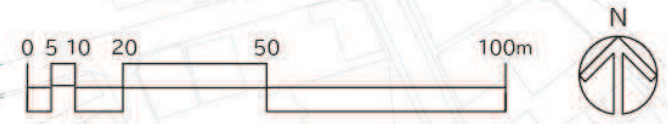
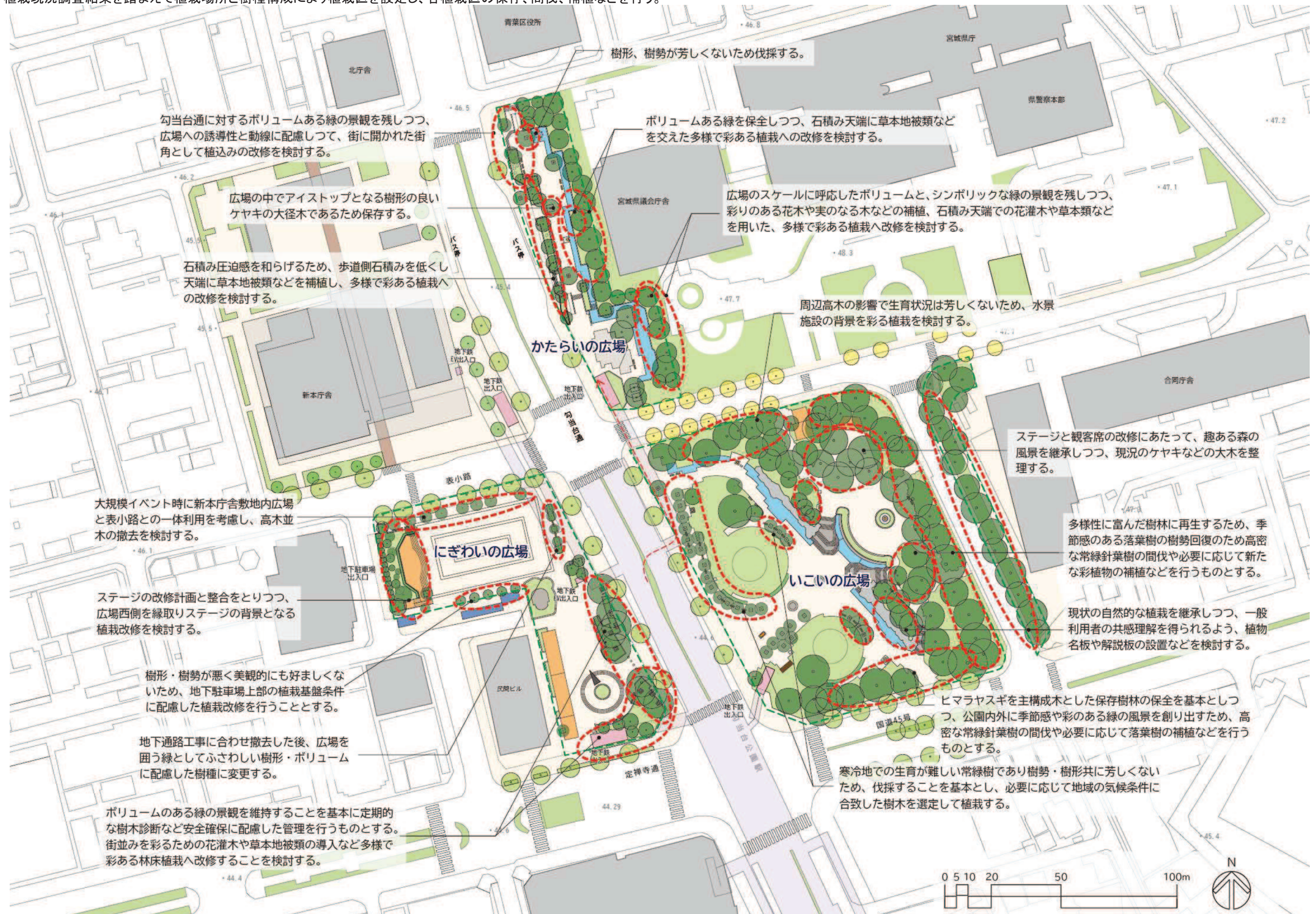
園内施設・彫刻の現況調査結果を踏まえて、保存、改修、移設、撤去、建て替えを行う。各施設の取り扱いの方向性を示すものとした。彫刻については市に残る資料により、設置の由来背景、作品意図を踏まえて保存、移設の設定を行う。



4) 既存施設・植栽の保全・活用方針

② 植栽

植栽現況調査結果を踏まえて植栽場所と樹種構成により植栽区を設定し、各植栽区の保存、間伐、補植などを行う。



※仙台市役所は建て替え後のレイアウトとしている。

—2. 基本計画

1) 空間ゾーニングと動線計画

① 空間構成計画

3つの広場の性格付けと整備方針を踏まえて、勾当台地区を貫く二本の南北軸の取り込み、新本庁舎敷地内広場、表小路やつなぎ横丁、定禅寺通など周辺との一体性を意識して、各空間の性格付けと機能内容を検討し、各広場の空間構成とする。

